15秋闘 東海地本 FAXNEWS

全国福祉保育労働組合東海地方本部
TEL052-881-2971
FAX052-881-2998
fukuhotk@onyx.dti.ne.jp
http://www.fukuho-tokai.jp/

戦争する国づくりを許さない

解釈改憲、憲法改悪を許さない！憲法が生きる平和な社会をつくろう。

★9/6(日) 第29回地本定期大会 戦争する国づくりを許さない

特別決議の活用を！↓

私たちは今大会で、安保関連法案を廃案にするまで声を上げ続ける「特別決議」を満場一致採択しました。**(添付)**

この「特別決議」を、組合掲示板に張り出しましょう。分会で読み合わせましょう。

そして、施設の掲示板に貼らせてもらう、職員全員や保護者・利用者家族全員へ配布させてもらう、等々を理事会へ申し入れ、「特別決議」を大いに広げましょう。

未組織訪問対象の職場へポストインや議員事務所へFAXするなど、分会で創意工夫を凝らして活用しましょう。

（上）「戦争やめて！」と書かれた紙を掲げ「特別決議」に賛成する出席者ら＝名古屋市熱田区で　（下）日の丸やボードを掲げ、安保関連法案に賛成の意思を示す人たち＝名古屋・名駅で

「戦争×」保育士ら決議

安保法案 賛成派は名駅で街宣

国会で審議中の安全保障関連法案をめぐり、東海三県にある民間保育園や障害者施設などで働く人たちの「全国福祉保育労働組合東海地方本部」（名古屋市熱田区）が六日、法案の廃案を求める特別決議を採択した。「子どもたち、障害を持つ人、高齢者の当たり前の生活を守るため」との文言を盛り込み、決意を込めた。

同本部の起草委員が「難しい言葉をやめよう」と話し合って決めた決議は、まるで詩のよう。日ごろから幼い命や筋ジストロフィーなどの障害者らに接するだけに「平和な世界」です。だって戦争は、には戦争はいらないの」よわい人たちが被害を一番に受けます」などとつづられた。

定期大会で保育士の土井美咲さん(三)が決議を読み上げて採択されると、約二百人が「戦争やめて」と書かれたプラカードを一斉に掲げた。決議は、それぞれの職場に持ち帰って施設利用者らに伝えるという。

一方、安保関連法案に賛成する「頑張れ日本！全国行動委員会愛知県本部」が六日、JR名古屋駅前で街宣活動を繰り広げ、約二百二十人が集まった。

名古屋市議会議長の

9/7（月）中日新聞

大会発言では、平和にかかわる発言も５本と例年以上でした。その中でも、報告を聞いただけでなく「平和分科会」を持って感想や意見交流から自分たちで何ができるかを考えあったことや、世界大会で原爆は過去の出来事ではなく今も続いていることだと感じたことから、「世界大会とはまた別で自分たちで被爆地訪問を行いたい」という声が上がっているという発言がありました。「自分たちで企画して組合で取り組めるようにしていこう！まとまってきたら地本に提案したい。」と、主体的・自主的な行動が動き始めています。組合活動は、一人ひとり自分が主人公の活動の場。まさにそんな発言でした。

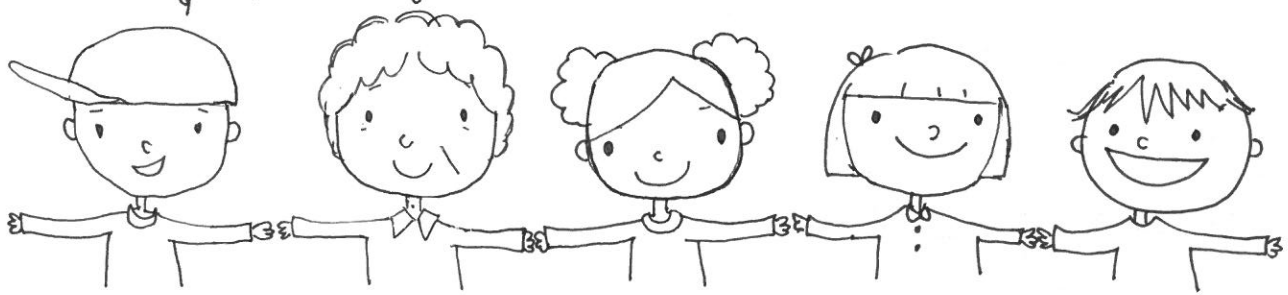
特別決議宣言(案)

戦後70年。今、私たちに出来ることは何だろうか。
平和ってなんだろうか。戦争を知らない世代だけど、
考えることはできると思います。

平和って、未来の約束が当たり前にできること
平和って、みんなが笑顔ですごせること
平和って、どの命も大切にできること
平和って、思いを自由に話せ、夢が抱けること
平和って、帰れる場所があること
平和って、憲法が活かされる社会であること

私たちは戦争のないことだけが平和な世界だとは思いません。
しかし、平和な世界には戦争はいらないのです。

だって戦争は、よわい人たちが被害を一番に受けます
だって戦争は、当たり前の暮らしを奪いとってしまいます
だって戦争は、人間を滅ぼします
だって戦争は、世の中の良いものを壊します



戦争は一部の欲で始まります。戦争は始めるより終えることが難しいのです。
平和は、私たちが声をあげて作っていくものです。私たちは武器や核兵器を
持つのではなく、話し合いで物事を解決していく社会を望みます。福祉労働者として、
子どもたち、障害を持つ人、高齢者の当たり前の生活を守るためにも、私たちは
安保関連法案を廃案にするまで声をあげ続けましょう。

右決議します。

二〇一五年九月六日　全国福祉保育労働組合東海地方本部　第二九回定期大会